

開催要項

開催場所

つくばラジコンアリーナ 全天候型 ドリフトグランプリコース

※雨天の場合でも行います。

〒305-0861 茨城県つくば市谷田部 4385-2

TEL029-836-0914

<https://www.tsukuba-rc.com/>

開催クラス

●**エントリー クラス**／サーキット走行が初めての方やドリフト初心者向けのクラス。RWD、AWD のどちらでも OK。初めての方でも、審査員の判断によりスポーツクラスへの昇格もあります。優勝者は、次回ラウンドよりスポーツクラスに昇格となります。

●**スポーツクラス**／ドリフトの操作に慣れてきた方向けのクラス。RWD、AWD のどちらでも OK。優勝者は次回ラウンドよりエキスパート クラスに昇格となります (車両が RWD の場合)。

●**RWD エキスパート クラス**／ドリフトに自信のある方向けのクラス。決勝進出者のうち上位 3 名は、次回ラウンドより RWD D1 ドライバーとして認定される。ただし参加人数が 8 名以下の場合は、D1 ドライバーとして認定されるのは 1 名のみとなります。

●**RWD D1 クラス**／ヨコモ認定者のみが参加できるクラス。決勝は 8 名もしくは 16 名による追走トーナメント方式で行います。

RWD D1 クラスのみ 4 月 16 日開催のラウンドより年間シリーズ戦と致します。

2023 年シリーズ戦の有効ラウンドは 4 月・6 月・8 月・10 月・12 月ラウンドの計 5 戦となります。

(※認定ドライバー以外の RWD D1 クラスに参加権利について：メーカー推奨枠あり)

※昇格のコールを受けた選手は、その周でヒートを終了とし、同ラウンドの昇格したクラスに組替え、改めて予選走行を行って頂きます。

●**DRIFT DANCE**／各チーム 3 名による団体走行により、ドリフトの角度 (10 点)、壁からの距離 (10 点)、シンクロ率 (10 点)、エンタメポイント (20 点) の合計 50 点満点で採点。

車両規定

●エントリー、スポーツ クラス (AWD 又は RWD)

- シャーシ：メーカー各社の車両 参加可能。
- モーター：メーカー各社のブラシモーター・ブラシレス モーター 10.5T 以上のターン数。
- ESC：規制なし。
- 全備重量 (RWD クラスのみ)：1100g 以下 (リヤ タイヤ部での計測時)。

●RWD エキスパート、RWD D1 クラス

- シャーシ：メーカー各社の車両 参加可能。駆動システムはリヤ駆動の 2 駆のみ。
- モーター：ターン数規制なし。
- ESC：規制なし。
- 全備重量 (RWD クラスのみ)：1100g 以下 (リヤ タイヤ部での計測時)。

●ドリフトシングルで共通の車両規定

- ボディ (本体) メーカー各社 1/10 サイズドリフト用 (実車ドリフトカーのイメージに沿ったものを推奨) (トレーラーヘッドなどは使用不可)。
(本体以外) ウイング側面の翼端板 (サイドダム) の大きさは片側に付き、縦 4cm × 横 4cm 以下に収まっていること。またボディ最後部より後ろ 2.5cm 以上に、ウイングの一部でもはみ出してはならない。
- シャーシ：全長 49cm 以下 (ボディ含む)、幅 23cm 以下、高さ 15cm 以下 (車両は全備静止状態で測定、ウイング / 翼端板含む)、ホイールベースは 28.5cm 以下。
- タイヤ：リヤタイヤのみ当日支給の指定コントロールタイヤ (ZR-DRPA ドリフト コンペティション タイヤ (P タイル路面用) を使用)。
フロントタイヤはヨコモ製 ZR-DRPA ドリフト コンペティション タイヤ (P タイル路面用) であれば OK。(例：中古タイヤでも使用可)
各クラス大会当日 1 人 1 セット (P タイル路面用 / レーザー刻印入りタイヤ 4 個) 支給。ヨコモ製 ZR-DRPA ドリフト コンペティションタイヤ (P タイル路面用 / レーザー刻印入り)。指定コントロールタイヤの追加購入はアリーナショップで購入可能 (購入数制限なし)。改造や加工は不可。支給タイヤのレーザー刻印は外側から見えるように組み込む事。(刻印を内側にしたの組込みは禁止)
- ホイール：各社 1/10 サイズのドリフト用 26mm 幅のホイール各種 (塗装可能)。
改造や加工は不可 (ディッシュホイールは使用不可。禁止事項の例) ホイールの幅を狭める加工。スポークを切除する。切れ込みを入れてしならせて使用する。など
- バッテリー：メーカー各社使用可能。バッテリー搭載位置に関して、フロントアクスル軸とリヤアクスル軸の間にある事。
- その他：ジャイロの使用を全てのクラスで認めます。(メーカー問わず) 車両規定や競技についての突発的な問題点等は、主催者側の判断とする。

●DRIFT DANCE の車両規定

- シャーシ：1/10 サイズ RWD ドリフトカー
- タイヤ：市販の 1/10 サイズドリフト用樹脂製タイヤ (路面を傷めない材質・形状のもの)
- ボディ：1/10 サイズドリフト用 (実車ドリフトカーのイメージに沿ったものを推奨)

競技規定

競技規定

●各クラスの審査基準

【エントリークラス、スポーツクラス】

予選・決勝ともにルーレット審査。各クラス指定のクリップをドリフトで通過する。

【RWD エキスパートクラス & RWD D1 クラス】

DJS（ドリフトジャッジシステム）を使用した単走審査時における採点方式及び 追走審査時（D1 クラス）時における勝敗決定について

■単走審査時における採点方式

※「RWD エキスパートクラス」「RWD D1 クラス」のみで単走審査時に DJS を使用。「エントリークラス」「スポーツクラス」DJS 審査の対象外となります。

●ドリフトジャッジシステム（DJS）

【DJS とは】

（クリップボックスで壁から 10cm の距離のポイントを通過すると、青ランプから緑ランプに変わるシステム）

操縦者やコース外で観ている誰でも、その場で DJS のポイントを通過して成功するとランプが変わるのでドリフトイベントが盛り上がりヨコモドリフトイベントならではのシステムです。

【単走審査基準】

- ①壁からの距離：クリップボックスに 10 cm 間隔に 3 本線を引く（加点方式）
- ②角度：クリップボックスに基準の角度線を設ける（減点方式）
- ③先振りポイント：ドリフトするポイントを線でマーク（減点方式）
- ④ライン：指定ラインを設定（減点方式）
- ⑤パッション：迫力、速度、パッションなど総合要素にて判定（加点方式）

・上記の 5 つのポイントを審査する。

②～④の審査エリア内におけるドリフト時のアクシデント（アンダーステア、ドリフトの戻り、ふらつき、失速、流されなども減点対象となります）

< DJS を使用した審査 >

- ①壁からの距離（壁から車体後端までの距離を判定。）
- ・DJS のランプが緑点灯の場合、1 か所につき 2 点を加点
 - ・DJS のセクションが 5 か所ある場合、合計で最大 10 点の加点
 - ・ドリフト走行が継続されていない場合やクラッシュ判定の場合は DJS ランプが点灯していても加算は行われない。
 - ・壁からの設定距離は主催者側にて任意の距離にて設定

< 審査員（人）の審査項目 >

- ②角度（クリップボックス内に基準の角度線を設け車体の角度を判定）
- ③先振りポイント（ドリフトを開始する振り出しポイントをコース上にマークし判定）
- ④走行ライン（設定された走行ラインと比較し判定）
- ⑤パッション（各審査員の主観による迫力、速度、パッションなど総合要素にて判定）

以上、総合で最大 90 点とし、上記項目ごとの加減点による採点が行われる。

< DJS 審査 及び 人審査 の点数配分 >

- ・DJS 最大 10 点 ・審査員 最大 90 点
- ※システム合計 100 点をフルスコアとする

■ D1 クラス決勝（追走）審査説明

< 審査方式 >

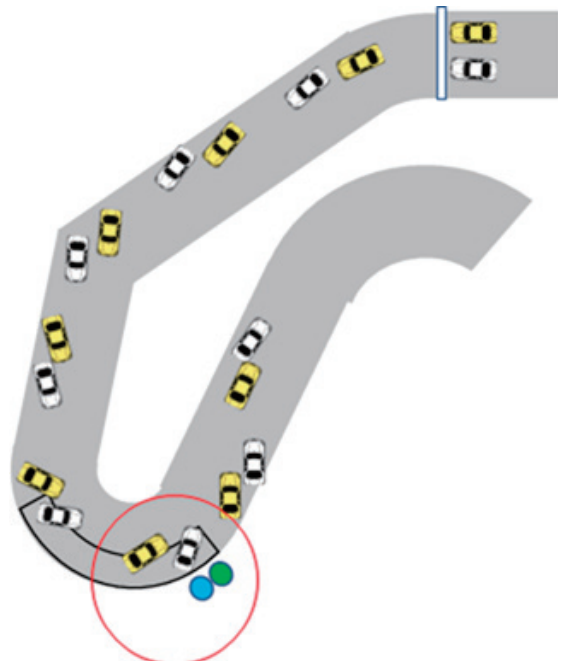
- ・D1 クラス決勝は追走方式で競う、予選を通過された選手（ベスト 8 または 16）でトーナメント方式にて行う。
- ・対戦において「先行（前走車）」および「後追い（後続車）」の入れ替えにて 2 本の走行を行う。
- ・「先行（前走車）」は予選の審査基準に沿った走行を行う。「後追い（後続車）」は「先行（前走車）」からの近接したポジションにて乱れの無い、尚且つ接近したドリフト走行を維持する。
- ・前走車がスピン、クラッシュ、ラインからオーバーした場合等は追い抜き可能。
- ・同スコアが出力された場合は、再戦（サドンデス）を行う。再戦は勝敗が決まるまで継続する。

< 採点形式 >

- ・各審査員（2～3 名）が審査方式（追走）に則り個別の勝敗結果を出力し、システム上にて均一化された単一の結果を出力し勝敗を決定する。

< DJS を使用した審査項目 >

- ・「先行（前走車）」は DJS の緑ランプ点灯の数により、各審査員の配点が判断される
- 例：後追い車が、接近したドリフト走行しても、先行者が DJS のランプを全て点灯させ走行した場合、後追い車への加算は減少する場合がある。
- ・スタートラインから最初の DJS にて、「先行（前走車）」が DJS のランプが緑点灯させない場合は「先行（前走車）」への配点は不利に働く場合がある。



● DRIFT DANCE 審査基準

各チーム 3 名による団体走行により、ドリフトの角度（10 点）、壁からの距離（10 点）、シンクロ率（10 点）、エンタメポイント（20 点）の合計 50 点満点で採点。

